

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月27日

【評価実施概要】

事業所番号	4270102504		
法人名	有限会社 サナス		
事業所名	グループホーム 出島		
所在地	〒850-0842 長崎県長崎市新地町4-15大久保ビル5階 (電話) 095-820-3788		
評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目7217 島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成19年12月25日	評価確定日	平成20年2月26日

【情報提供票より】(平成19年12月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 14年3月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤	8 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 8 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	7階 建ての	5 階 ~	5 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	39,000 ~ 45,000 円		水道光熱費	24,000 円
敷金	有() 円 (無)	その他の経費(月額)	水道光熱費 24,000 円 その他 実費	
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有) 150,000 円 無	有りの場合 償却の有無	(有) 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	500 円	おやつ	0 円
	または1日当たり 1,200 円			

(4) 利用者の概要(12月1日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名		
要介護3	4 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 88 歳	最低	80 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	大久保医院
---------	-------


【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは長崎市の商業地域の中心部にあり、医療施設を併合した7階建ての5階にある。交通の利便性が良く、近隣には毎年イベントが開催される公園や総合病院、大型スーパー、ガソリンスタンドが密集している。当ビルの医療施設とは連携体制が整っており、入居者の体調変化などには臨機応変な対応が出来る。家族の安心に繋がっている。運営方針の「人間としての尊厳を大切にして、家庭的な雰囲気を利用者の個性を活かし、介護支援のある日常生活の支援を行います」は、ホームの理念に具体化され、職員全員が認識し、ターミナルケアも自然に受け入れられ、入居者は安心した生活を送られている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	改善計画シートが作成されている。中でもアセスメントシートの改善により、介護計画に反映し易く、入居者の力を引き出せる様になり、職員の質の向上にも繋がっている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は、管理者が日常的に職員と会話を交わし、練り上げ原案を作成した物を、職員会議で確認された。職員会議では具体的な討議がなされ評価の意味が統一されている。年度変わりには個人の目標を書いて、管理者と質の向上について話をしている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目	参加メンバーは多彩で、当ホームの母体の理事長も参加して、直接、意見が吸い上げられるシステムになっている。会議では活動状況報告の他、地域交流についてを具体的な議題として論議され、その年の目標にされている。今後、地域との交流や市町村との連携を強化していく事が望まれる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
重点項目	お花見会・夏祭り・敬老会・クリスマス会には家族と過ごす機会があり、その中で家族会という形で会議があり、様々な意見を頂いている。月末には家族だよりと一緒に請求書を出し、支払いに来られた時、面会時に家族には近況を報告しており、支払いが振込みのご家族には、電話の報告となっている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	入居者の状態により、自治会や老人会には入会していない。運営推進会議には自治会長や老人会長が参加しており一定の交流はされているが、近隣には一般住宅が少ない為、地域との交流は盛んではない。しかし、ボランティアや専門学校生の研修受け入れ、中学生の職場体験は積極的になされている。

2. 評価結果 (詳細)

( 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	尊厳を尊重して入居者の隠れた力を引き出しながら支援する事を理念に掲げている。昨年より理念を「安心・安らぎ・尊厳」と分かり易い言葉に変え、ケアに努めている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	折に触れ、理念は語られている。何が一番大切なのかを常に考え、職員会議やケア会議に議題として取り上げられ、入居者を第一に考えている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	老人会や自治会には入居者の心身の状態により入会していないが、ボランティアや専門学校生の研修、中学生の職場体験などは積極的に受け入れている。母体の理事長自身が、昔から地元で医療機関を営んでいる為、地域からの要望で、当ホームが建設された経緯があり、地域の催し物には足を運んだり、協力要請に応じている。		入居者の健康状態も考慮に入れ、機会があれば入会を勧め、一部の入居者だけでも交流を図られる事を希望する。又、当ホームの入口は、診療所と同じになっているが、裏口に標榜を出して入り易い工夫をし、地域に存在をアピールする事が望まれる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、管理者が職員と十分な話し合いを基に原案を作成した物を、職員会議で確認されている。外部評価後も、職員会議で結果について、改善計画シートを作成し、その年の目標としている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議には理事長も参加し、地域の代表者からの意見は直接、サービスに繋げたり、ケアについても具体的な話し合いが出来、改善されている様子が窺える。		

グループホーム 出島

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議には地域包括支援センター職員が参加されているが、日常的な市町村との連携関係は出来ていない。		過去に自治体に問い合わせ等をした経験はあるが、研修場所の提供や事業を行っていく上での問題解決に協働関係作りの工夫を期待する。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	行事の時や散歩・ドライブ時の入居者の写真をアルバムに残している。年4回行っている食事会では、家族との話し合う時間を設け交流している。月末の請求時にも近況報告を行っており、振込みされている家族の方には電話連絡も行っている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年4回のお花見会・夏まつり・敬老会・クリスマス会には家族と共に食事会を開き、交流を図られている。その時に家族会という名目で意見を聞き、ケアに繋げている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	以前1名の退職者が出たが、入居者には何も伝えず、自然と過ごすことによって対応された。新入職員も自然と馴染んでこれ、これ迄もトラブルなどはない。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会参加は、管理者を先頭に職員も積極的である。職員の資格取得にも協力的で、意欲が窺える。又、ビル内にあるデイサービスの職員と3日間トレード研修を行い、視点を変えて、ケアに繋げる努力もされている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	長崎市グループホーム協議会に参加しており、管理者と交流がある他のグループホームへの相互見学を予定している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居される時は必ず自宅まで出向いて、環境や本人の意向を確認している。ご家族面談後、ご本人が見学・体験された後、入居に至っている。それでも入居されてすぐに不安になられる入居者には、時間をかけて不安を取り除いたり、一緒に家族に電話をかけたりと、早く馴染める様に充分な対応を行っている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>家族の報告だけを鵜呑みにせず、職員が確認して尊重したケアに努めている。入居者は、自分ができるお手伝いをされたり、マッサージが上手な入居者は職員の肩もみをされる光景が見られた。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>ICFを活用中ではあるが、まだ経過途上である。現時点では、過去の生活歴・思いや意向の把握が不十分と認識されており、入居者バックグラウンドシートを活用し、把握に努められている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ケアカンファレンス・ミニカンファレンスが随時行われている。医師等も参加し、個別具体的な介護計画が作成されている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1度の見直しが行われている。又、退院後・状態変化時には現状に応じて、ミニカンファレンスが行われ、ご家族の意見も聞き、見直しもされている。</p>		

グループホーム 出島

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ほとんどの入居者は、当ビルの診療所からの往診を受けている。他医院や他科への通院は臨機応変に、希望があれば付き添ったりしている。又、美容院や買い物、生家への帰省の支援も行われている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ほとんどの入居者のかかりつけ医は、当ビルの診療所が担当している。その他の通院は希望に沿って行われ、ご家族とも情報が良く伝達されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	過去にターミナルケアの経験があり、同意書も確認された最後の看取りまで対応され、職員の認識もある。協力医との綿密な連携もある。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	管理者は、市の接遇研修会へも参加している。職員の入居者への対応には問題は見られず、日々の会話も入居者に合わせ、入居者は穏やかに過ごされている。個人情報についても文書で確認されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の暮らしは本人に任せている。入居者は日中はソファで食堂で過ごされ、編み物や習字などそれぞれの趣味に興じられている。又、以前の仕事の意識が強い入居者には、職員全員がその方に応じた対応をされている。		

グループホーム 出島

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	昼食は当ビルのデイサービスへの外注であるが、夕食は入居者の好みを聞いて作られている。誕生会の時は、その人の好きな食事を提供している。又、出来る範囲で手伝って頂き、入居者の好みや食事のリズムを把握して支援されている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には週3回の入浴だが、希望時や特別な時には可能である。また必要な時にはシャワーで対応されている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	午後の時間帯は散歩や買い物に行かれている。また希望された年賀状作りや手芸など、入居者の要望に沿った生活の支援をされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望される入居者には外出支援が行われ、声掛け促し等もされている。天候・体調・気分等を考慮した上で実施されている。又、日誌に屋外活動として、散歩等の項目が記載され、実施の有無を記入されている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけないケアを実践されている。無断で外出しそうな方を玄関のチャイムが知らせたり、1階の診療所職員が入居者と顔見知りであり、連携しホームへ連絡される。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害マニュアル・緊急連絡網が整備され、消防訓練も年2回実施されている。災害時には、両隣のガソリンスタンドに協力を依頼している。		

グループホーム 出島

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分補給は、定期的及び随時なされている。関係機関には栄養士もいる為意見を聞いている。又、入居者の状態に応じ、刻み食・軟食と食べ易くする支援が行われている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベランダには季節の花が植えられ、安らぎを与えている。共用のリビングは広くすっきりと整理され、日中は入居者の集いの場になっている。壁には手作りのカレンダーが飾られており、クリスマスのデコレーションは季節的で楽しい雰囲気を作っている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には押し入れもあり、季節の衣類の収納が出来る。ベッド以外は、テーブル・畳・籐椅子・鏡台・引き出し等使い慣れた物が持ち込まれ、入居者の居心地の良い生活の様子が窺える。		